

2023 年 12 月 8 日

2023 年度「大学院生・若手研究者海外学会発表支援制度」の支援対象

日本社会心理学会

会長 西田 公昭

2023 年度「大学院生・若手研究者海外学会発表支援制度」の支援対象について、規程に従って下記のように選考を行いました。研究支援担当常任理事・山下玲子氏（東京経済大学）を委員長とし、稲増一憲氏（理事：関西学院大学）、工藤恵理子氏（理事：東京女子大学）、栗林克匡氏（北星学園大学）、膳場百合子氏（早稲田大学）の各氏を委員とする選考委員会が構成され、慎重な審議をお願いしました。その結果、総応募件数 6 件の中から 5 名（大学院生の応募件数 6 件の中から 5 名）を支援対象候補者として推薦することに決定しました。これについて、常任理事会および 理事会にて審議の後、承認されました。

なお支援金額は、規程に従い「上限 10 万円、ただし、アジア以外の地域で開催される学会に現地で参加した場合の上限は、15 万円」とします。支援対象となる費目は、募集要項に示す通りです。支援対象者の皆さんは、発表の完了後、支援申請金額の根拠となる書類を添えて速やかに学会事務局に申請して下さい。

<支援対象者（申請受付順、敬称略）、発表題目、発表学会>

1. 大学院生

- ・奥山 智天 一橋大学大学院社会学研究科・修士課程 2 年

Small Happiness: Scale Development and Its Validity

(The 2024 Annual Convention of the Society of Personality and Social Psychology. カリフォルニア州サンディエゴ, アメリカ合衆国. 2024 年 2 月 8 日～2 月 10 日)

- ・王 麗娜 名古屋大学大学院教育発達科学研究科・博士後期課程 3 年

Explaining American directness and Japanese indirectness: Focusing on relational and situational factors.

(The 2024 Annual Convention of the Society of Personality and Social Psychology. カリフォルニア州サンディエゴ, アメリカ合衆国. 2024 年 2 月 8 日～2 月 10 日)

- ・CHEN Han 立命館大学人間科学研究科・博士後期課程 3 年

The effectiveness of warning labels on COVID-19 related fake news.

(AASP (ASIAN ASSOCIATION OF SOCIAL PSYCHOLOGY) 2023. 香港, 2023 年 7 月 13 日～7 月 15 日)

- ・日下部 春野 北海道大学大学院文学院人間科学専攻行動科学講座・修士課程 1 年

Where does the cultural difference in rejection avoidance come from? : The role of

relational mobility and reputational concerns.

(The 2024 Annual Convention of the Society of Personality and Social Psychology. カリフォルニア州サンディエゴ, アメリカ合衆国. 2024年2月8日～2月10日)

・上田 皐介 名古屋大学大学院教育発達科学研究科・博士後期課程2年

Perceived social desirability and personal desirability of the Big Five personality traits: Correlations and their moderation by relational mobility.

(The 2024 Annual Convention of the Society of Personality and Social Psychology. カリフォルニア州サンディエゴ, アメリカ合衆国. 2024年2月8日～2月10日)

以上